

特集:診療報酬改定・新しい取り組み



心機一転! 新しいユニフォームで

昨年末にライフ 50 号を発行し、区切りのいいところでの終刊を決めました。多くの方から終刊を惜しむ声をいただき、ありがたく思うとともに、これからも何らかの形で情報を発信し続ける必要があるのではないかという考えに至りました。

これまでのライフは町にお願いし、区長さんに配布していただく形をとらせていただいていたため、全戸配布で多くの方々にご覧いただくことができましたが、一方でいろいろと制約もありました。今後は当院に来院していただい



ている方だけを対象にして、もっと自由に情報発信していきたいと思います。紙面は職員による手作りで、院内で印刷しますので以前より質は落ちるかもしれませんが、全ページカラーで作成したいと思います。以前は年に3回発行していましたが、今後は不定期でお伝えしたい情報がある時に発行していきたいと思います。

今回は「特集:診療報酬改定と新しい取り組み」として、新しくなった診療チームのユニフォームと4月の診療報酬改定や、新たに取得した資格、新しい内視鏡、新たに始めたスギ花粉症の治療、待ち時間のサービスを取り上げました。永井医院をもっと身近に感じていただけるような冊子にしていきますので、これからもどうぞよろしくお願いいたします。

また、フェイスブックのサイトを新しく作成しました。こちらも随時 更新していきますので、ご覧いただければ幸いです。



今後掲載していきます。ぜひアクセスしてみてください





face book用ORコード





医院ホームページ用 ORコード

スマートフォン等からQRコードを読み取ってください

今年は2年に1度の診療報酬改定が行なわれました。管理料や検査料など様々な点数や 算定要件が見直されました。変更点について一部をご紹介します。

☆禁煙治療を多くの方が保険で治療できるようになります

今までは禁煙治療を保険で行なうためには、1日の喫煙本数×喫煙年数が200以上でなければならない条件があり、喫煙年数の短い20代の方や喫煙本数の少ない方は保険で禁煙治療を行うことができませんでした。

しかし、4月からは

35 歳以上の方は今までと同じ条件が必要ですが、<u>34 歳以下の方は</u>喫煙本数と喫煙年数の計算は必要ありません。そのため、若い方や喫煙本数の少ない方でも禁煙治療が受けられるようになります。

☆湿布処方時の1回の処方枚数が制限されます

4月から湿布の<u>1回の処方枚数が70枚まで</u>に制限されます。また、処方せんに1日に使用する枚数が記載されることになりました。

☆大きな病院を初めて受診される場合は、紹介状が必要です

一般病床が500 床以上の病院を受診する際に紹介状を持たずに受診すると、初診時に<u>診察代以外に5000 円を負担する</u>ことになります。かかりつけ医から紹介状をもらい受診した方が、負担は少なくてすみます。

紹介状の料金は

- 1割負担の方→ 通常の診察料+紹介状料 250円=約700円
- 3割負担の方→ 通常の診察料+紹介状料 750円=約2100円 です。

※大きな病院を受診したい方は、遠慮なく医師に相談して下さい。

上記以外にも様々な点数改定が行われ、3月までと同じ診療内容でも4月1日からはお会計が変わることがあります。

ご不明な点があれば、スタッフに声をかけて下さい。



CPAP 療法士の資格を取得して 看護師 間絵理

当院では、睡眠時無呼吸症候群の患者さん にCPAP療法を行っていますが、東京で行わ れたCPAP療法士資格認定講座に永井院長 と参加してきました。睡眠呼吸障害に関する 概要に始まり、CPAP療法の機器の原理から 実際の臨床にいたるまでの内容で、2日間12 時間相当の養成講座です。講師は、睡眠時無 呼吸症候群治療の第一線で活躍する先生方 です。講座のあとに行われる認定試験の合格 者は「CPAP療法士」の認定資格を取得する ことができます。試験の範囲は、幅広く難し い内容でしたが、永井院長と一緒に無事合格 できたことを大変うれしく思っています。



CPAP療法を導入すれば治療が終了するわけではなく、導入後も眠気の改善や無呼吸指 数の改善、長時間の使用ができているか、マスクのフィッテイングがうまくいっているか など、注意していかなくてはならない問題があります。そのような問題を改善できるよう に、4月から当院でCPAP療法の効果を解析できるようになりました。CPAP装置には、使 用状況が記録されています。CPAP療法を行っている患者さんは、受診される際にCPAP 装置に付属されているデータメモリーカードを持参していただくことで、使用効果がわか るようになりました。

今回研修を受けたことで、より安心できるCPAP療法の導入や導入後のケアをさせて頂 くことができるようになるのではないかと思います。CPAP装置のこと、身体的なこと、 不安や不具合についてなど、お気軽にご相談下さい。

当院では、ご自宅でできる睡眠時無呼吸症候群の検査を行っております。

睡眠時無呼吸症候群とは

寝ているときに何度も無呼吸や低呼吸を繰り返し、熟 睡できずに昼間の眠気や起床時の頭痛、さまざまな合併 症を引き起こす病気です。

眠気により、重大な交通事故や産業事故をおこしてしま うこともあります。

いびきは睡眠時無呼吸症候群の重要な徴候です!

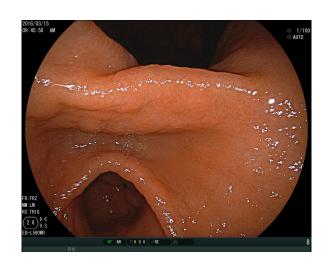


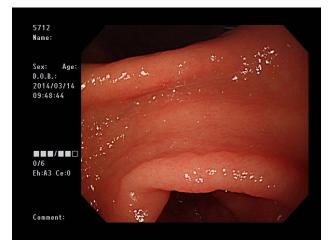
胃カメラが新しくなりました

院長 永井俊一

2月初めから、胃カメラが最新式のものに変わりました。これまでもオリンパスのハイビジョン画質の内視鏡を使っていましたが、今度の富士フイルム製の内視鏡はレーザーの光源を用いることでもっと鮮明に見ることができます(最近テレビでもコマーシャルしています)。また、特定の波長のレーザーを照射することで、粘膜面や毛細血管を強調して診断しやすくします。使用しはじめてまだ2か月ですが、今後胃癌の早期発見に威力をあらわすと期待してます。胃カメラの太さはこれまでのものと同じですが、操作性も良くなっていますので、今までよりも楽に検査できたと言ってくださる患者さんもいます。

当院では経鼻内視鏡も行っていますが、これまでのハイビジョン内視鏡や富士フィルムの内視鏡と比べると画質が格段に落ちますので、見落とさないために検査時間が長くなってしまうという短所があります。胃カメラの最大の目的は胃癌を早期癌(内視鏡的に治療できる)の状態で発見することだと思いますので、なるべく画質のいいカメラをお勧めしています。苦しいのが嫌だという場合は、麻酔で寝た状態で検査をする事もできますので、ご相談ください。





(上:富士フイルム、右上:ハイビジョン、 右:経鼻)

モニター画面に映しだされる大きさも違います。富士フイルムの画像は拡大しても鮮明です。



暖かな日差しの春を感じられる日が多くなってきました。晴れた日には気分も軽やかになってきますが、花粉症の方にとっては憂鬱なことと思います。

スギ花粉症は、スギ花粉が原因(アレルゲン)となっておこるアレルギー疾患です。おもにくしゃみ・鼻水・鼻づまり・目のかゆみなどのつらいアレルギー症状をともない、その症状によって日常生活にさまざまな影響が及ぼされます。日本国内では4人に1人がスギ花粉症であるといわれており、最上町にも花粉症に悩まされている方が多いと思われます。スギ花粉の飛散は2月から4月頃がピークとなりますので、アレルギー症状に悩まされている頃ではないでしょうか。



スギ花粉症の治療のひとつに、アレルゲン免疫療法

があります。アレルゲン免疫療法はアレルギーの原因となっているアレルゲンを少量から 投与することで体をアレルゲンに慣らし症状をやわらげていく方法で、これまでは皮下に 注射をする「皮下免疫療法」だけでしたが最近では舌の下に治療薬を保持し内服する「舌 下免疫療法」の薬ができました。スギ花粉症の舌下免疫療法は、スギ花粉症と診断された 12歳以上の患者さんが治療を受けることができます。1日1回、少量から服用を始め2週 間は徐々に増量し、その後は決まった量を1~3年にわたり継続して服用します。服用方 法は、薬を舌下に滴下し2分間保持したあとに飲み込みます。初めての服用はスギ花粉が 飛散していない時期に開始します。長期にわたり正しく治療がおこなわれると、アレルギー症状を治したり、長期にわたり症状をおさえる効果が期待できます。副作用として、ア レルゲンを投与するために口腔内の腫れかゆみなどのアレルギー反応がおこることがあり ますが、頻度は低いといわれています。当院ではこの舌下免疫療法をおこなっております。

スギ花粉だけでなくダニアレルギーの治療薬もあり、こちらはすぐに溶ける錠剤を舌下

に保持しその後飲み込みます。スギ花粉・ダニアレルギーでお困りの方は ご相談ください。

心弾む春の日々をすごせるよう、花粉症対策に取り組んでみませんか?



当院では、診察までの待ち時間をお知らせするため、受付に待ち時間を表示するディスプレイを設置しています。診察待ちの患者さんが多くなると、どうしても待ち時間は長くなってしまい、どれくらい待つのかが分からないと「まだかまだか」という思いは強くなると思いますので、受付の時に診察まで何人待っているか、何分待つのかが一目でわかるように表示しています。

「待っている間に用事をすませたい」「待っている間は車で休んでいたい」など、待ち時間を有効に利用したい方のために、「携帯電話お知らせコール」を始めました。

「携帯電話お知らせコール」のご利用方法をご紹介します。

- ①受付後外出される方は、受付にお申し出ください。
- ②携帯番号をお聞きします。
- ③「携帯電話お知らせコール」のカードをお渡しします。

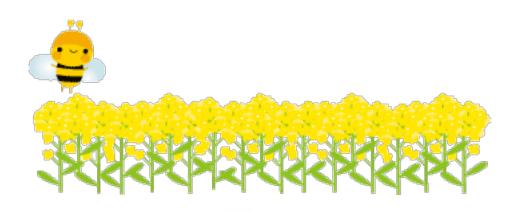
⇒外出

- ④診察の順番が近づきましたら、携帯電話に お知らせします。
- ⑤医院に戻りましたら、受付に「携帯電話お知らせコール」のカードを渡してください。 ⇒間もなく診察でお呼びします。



私たちは、待ち時間を短縮するために、さまざまな取り組みを考え実行しております。 しかし、それでもお待たせしてしまう事もあります。今回ご紹介した「携帯電話お知らせ コール」のように、患者さんにご提案できるものを、これからも考えていきたいと思いま す。

ご不明な点がございましたら、お気軽に職員にお声がけ下さい。



診療のご案内

	月	火	水	木	金	土
午前						
午後		休診	休診			休診

● 午前の診療は 7:30 から 12:00 です。

○ 月木の午後は 14:00 から 18:00 です。

● 金曜の午後は 16:00 から 19:00 です。

- ・仕事で診療時間内に受診できない方のために、隔週で金曜日の19:00 から 20:00 に予約外来を行っています。ご希望の方はお問い合わせください。
- ・土曜日は山形大学の今田先生(腎臓・膠原病専門) と渡邊先生(循環器専門)の外来があります。 (院長は休診になります)
- ・第3水曜日の午後は大腸内視鏡検査を行っています。 一般の外来はありません。

** お知らせ **

お盆休みは昨年まで8月13,14日の2日間でしたが、今年から8月11日が「山の日」で祝日になったため、8月12日もお盆休みにさせていただくことになりました。8月は11日~14日がお休みになります。ご不便をおかけしますが、よろしくお願いいたします。